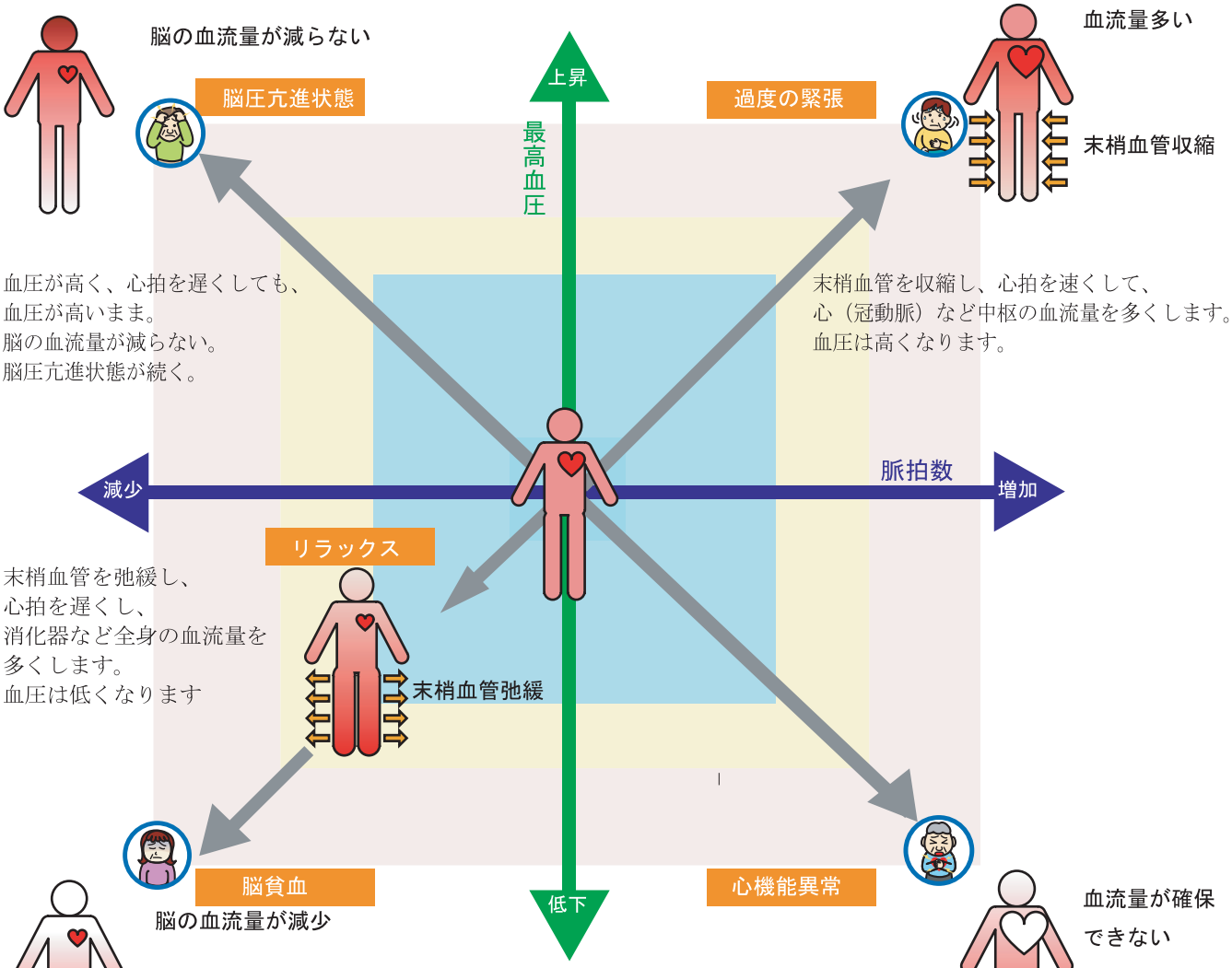
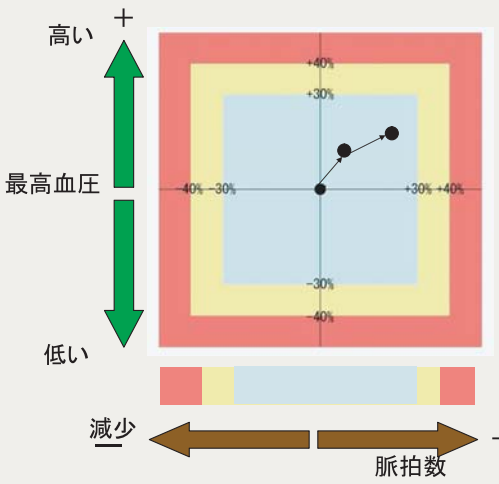


治療名人® とは

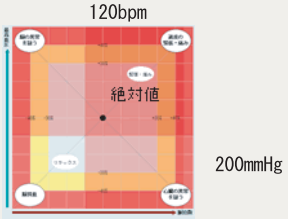


1. 最高血圧・脈拍の変化を同時に表示。変化の量、軌跡が一目でわかります。

2. 基点を決めそこからの変化（%）をみます。
（基点は任意に変更、設定可能です。）

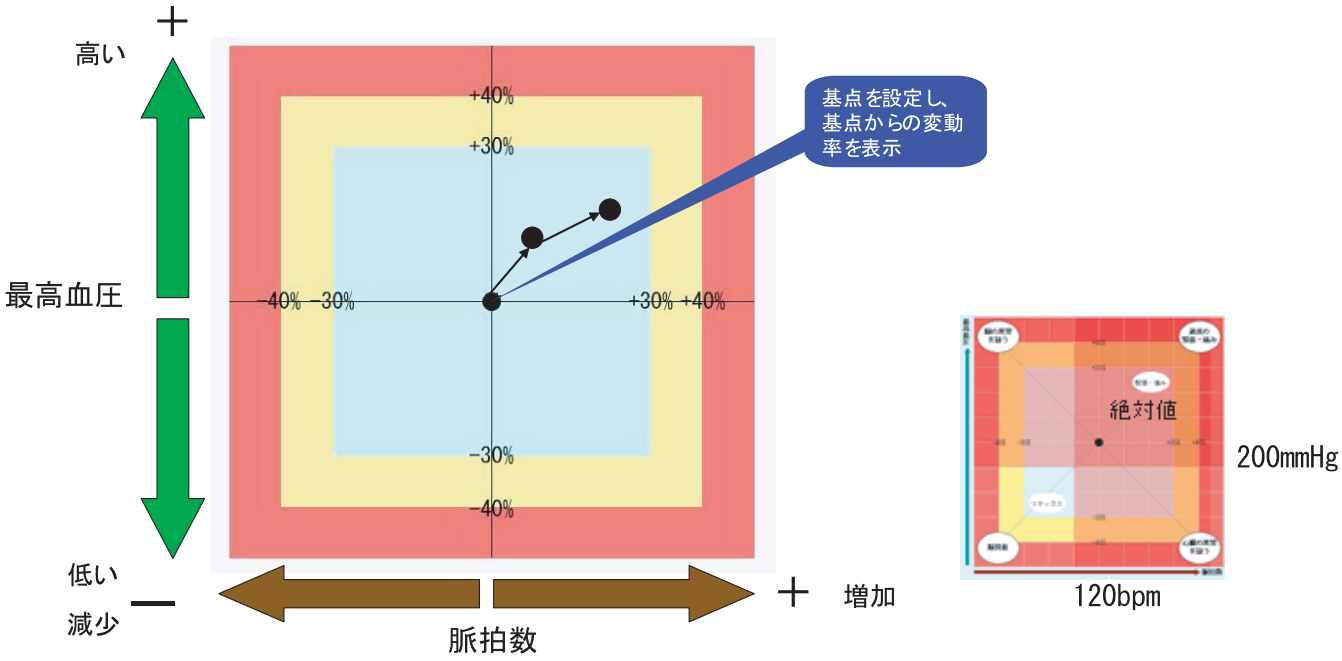
3. 脈拍数は連続監視±30%の変動があれば血圧を自動測定します。
（急変にも対応可能）

4. 絶対値を加味します。（絶対値ラインを赤い帯で示します。）
最高血圧：200mmHg以上、70mmHg以下
脈拍：120bpm以上、50bpm以下



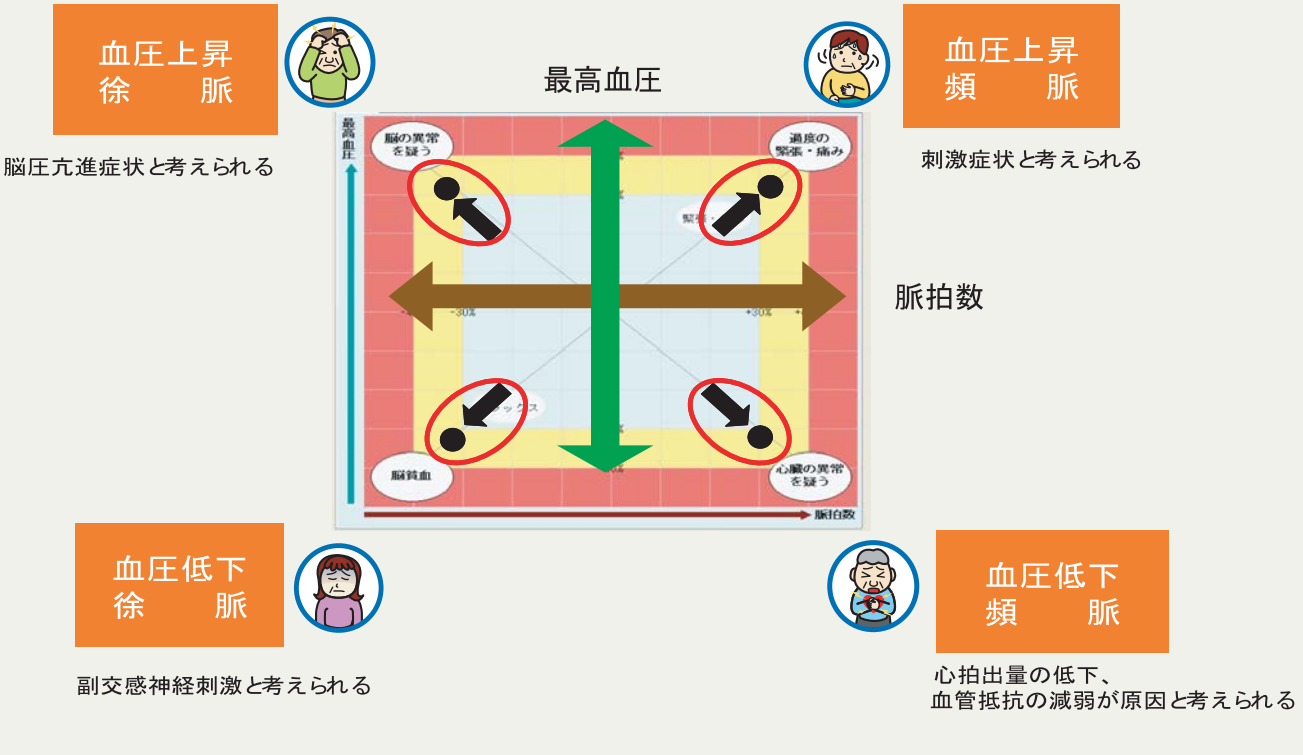
変化だけでなく、絶対値基準も加味した安全設計

最高血圧と脈拍の変化率を一画面で表示



1. 最高血圧・脈拍の変化を同時に表示。変化の量、軌跡が一目でわかります
2. 基点を決めそこからの変化（%）をみます。（基点は任意に変更、設定可能です。）
3. 絶対値を加味します。(絶対値ラインを赤い帯で示します。)
   最高血圧：200mmHg以上、70mmHg以下　　脈拍：120bpm以上、50bpm以下

血圧と脈拍との関係

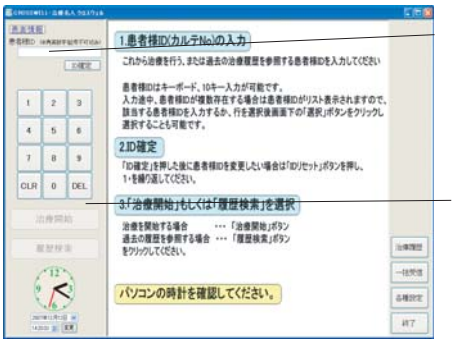


①治療名人2008のソフトの立ち上げ

アイコンをクリックします

パソコンとモニタはＵＳＢケーブルで接続して下さい

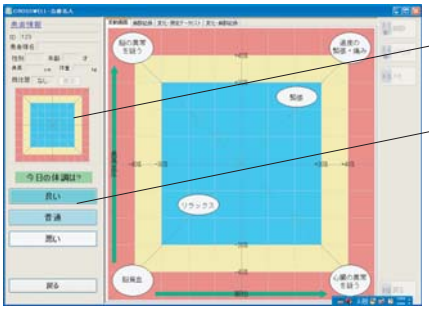
②パソコンで　患者様ＩＤを入力し、治療開始をクリック



ＩＤ番号を入力し、ＩＤ確定をクリックして下さい

治療開始をクリックして下さい

③体調を確認し、血圧測定を開始

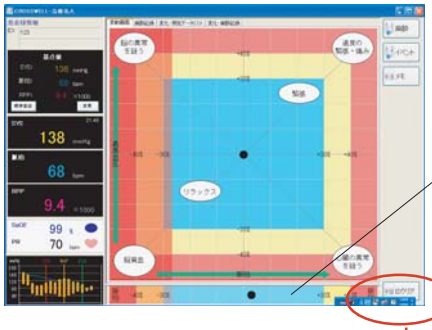


前回の循環変動します

体調を確認（クリック）し、
血圧測定を開始して下さい

この時サークルメイツの患者様ＩＤは”なし”を選択

④最初の値を基点とし、変化率をプロット



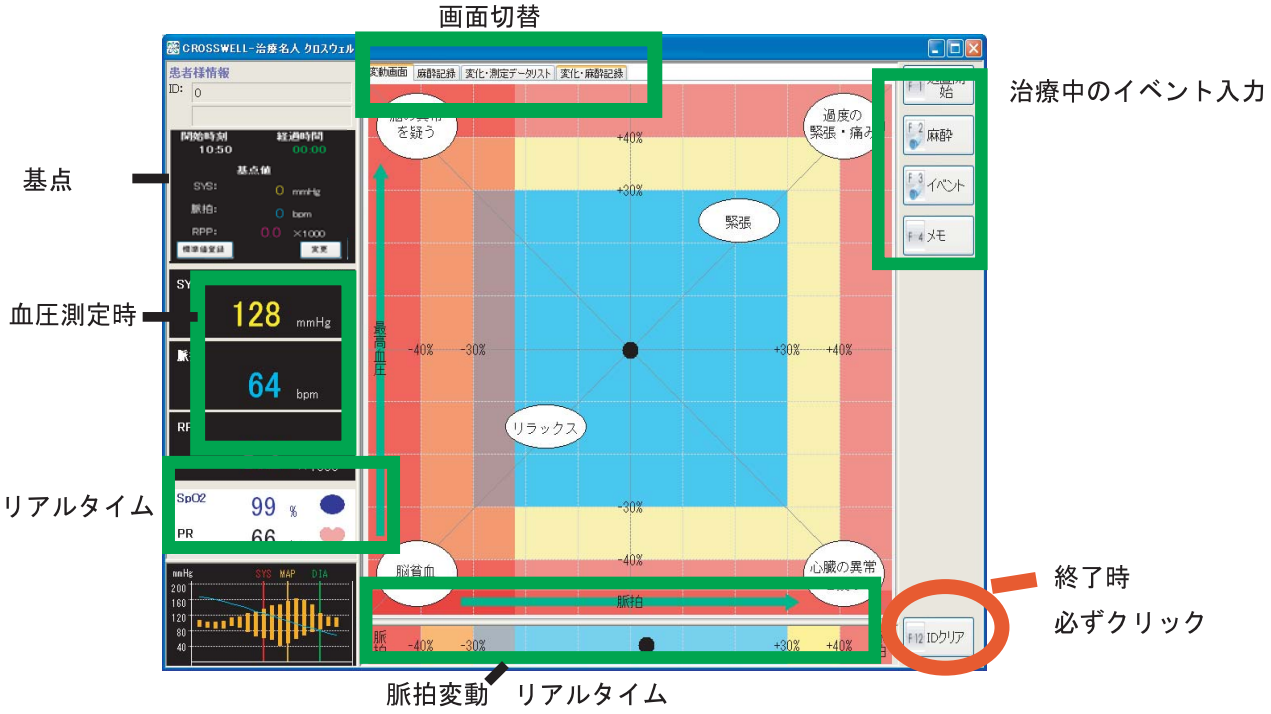
血圧測定終了毎に最高血圧と脈拍数の変化をプロットします

脈拍数の変動率を表示

脈拍数が（基点から）±30%以上変動すると血圧を測定します

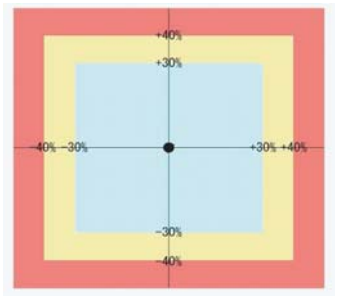
⑤治療が終了したらＩＤクリア

治療が終了したら、画面右下のＩＤクリアを押し、サークルメイツの電源をOFFにして下さい



脈拍が基点から ±30%以上変動すると、血圧を測定します

メッセージとアラームですばやくお知らせ



メッセージ

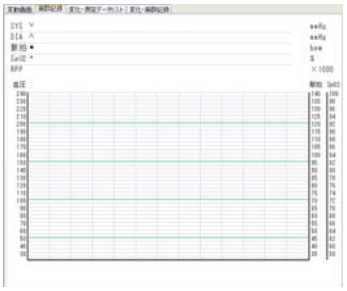
イエローゾーン・レッドゾーンに入るとアラーム

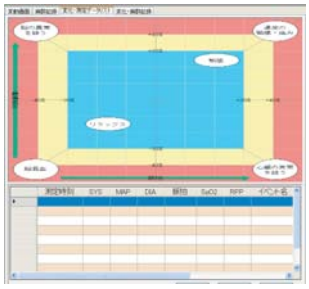
アラーム

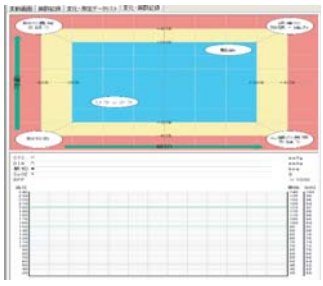
レッドゾーンに入るとアラームとメッセージ表示

画面切替

変動画面の他に、麻酔記録画面等の切替が可能





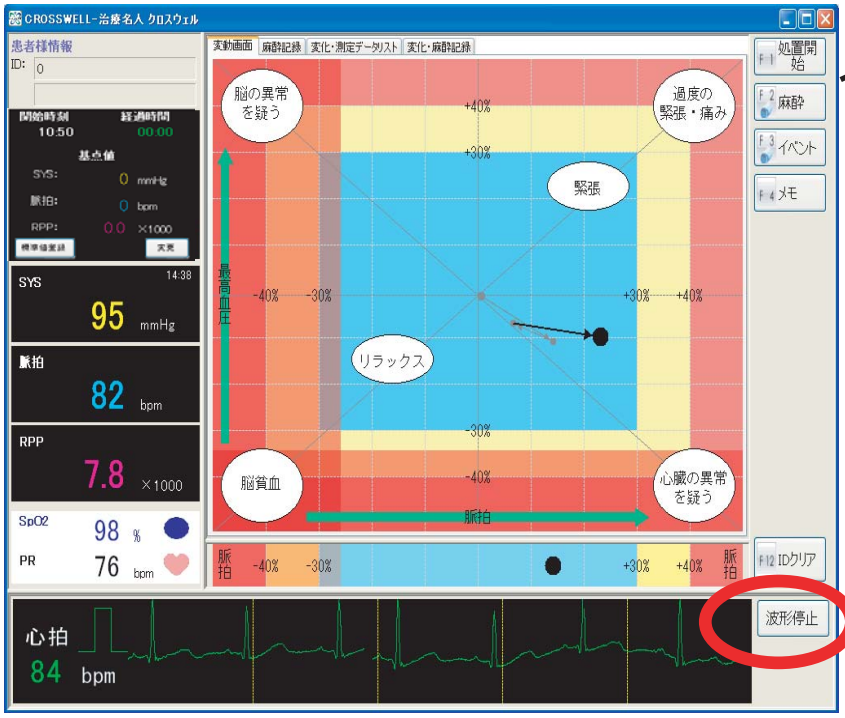


治療中にイベント編集も可能

治療が終了したらＩＤクリア

治療が終了したら、画面右下のＩＤクリアを押し、サークルメイツの電源をOFFにして下さい

ECG(心電）対応機種を接続時は心電波形を表示します



このような画面にならない場合は、各種設定の動作設定　治療名人設定　グラフ表示設定にて設定をして下さい
設定後は治療名人のソフトを再立ち上げして下さい

5秒間の波形を表示

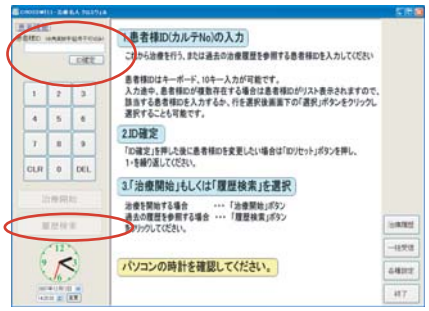
波形停止をクリックすると、クリックした時の波形を表示

イベントとして記録に残します

ＥＣＧ波形表示は、各種設定メニュー/動作設定/治療名人設定/グラフ表示設定で選択可能です

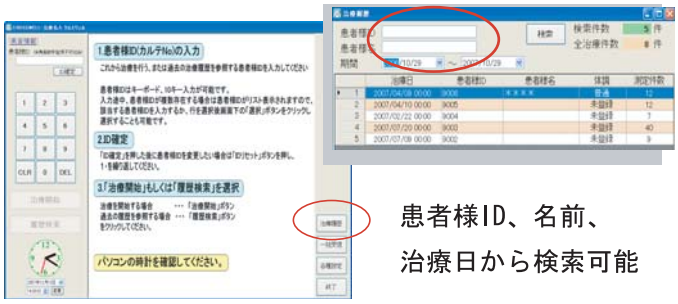
履歴検索

患者様IDから



患者様IDを入力し、履歴検索をクリック

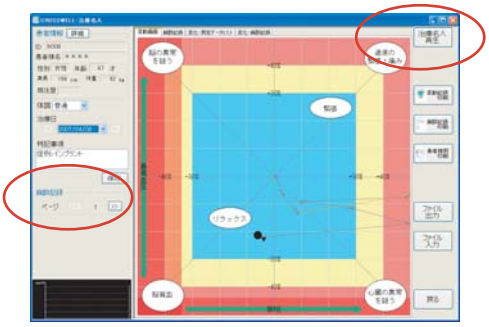
治療履歴から



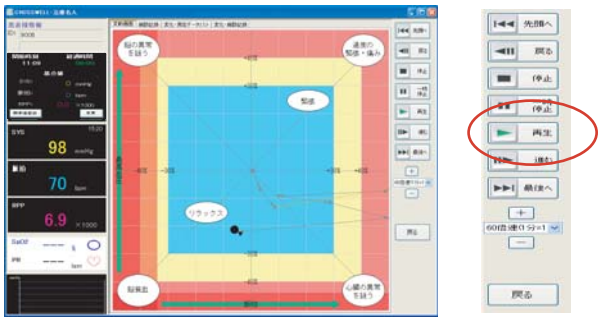
患者様ID、名前、
治療日から検索可能

該当のデータをダブルクリック

リプレイ

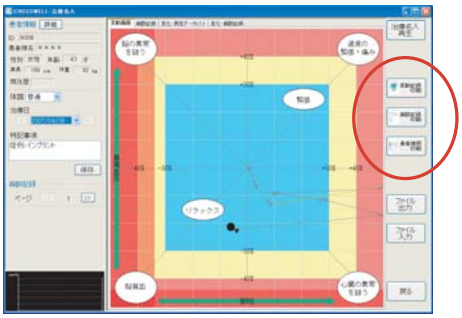


治療日の「<<」「>>」ボタンで治療日ごとの
測定データをご覧いただけます



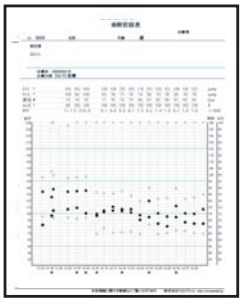
麻酔画面・変動画面ともに再生が可能です

印刷



変動記録印刷

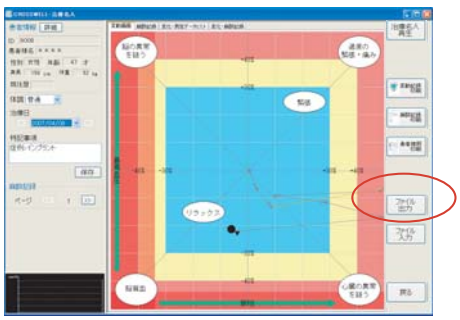
麻酔記録印刷



患者様用印刷

設定により、治療終了時（IDクリアボタンを押した時）の自動印刷が可能です
各種設定⇒動作設定⇒環境設定⇒自動印刷

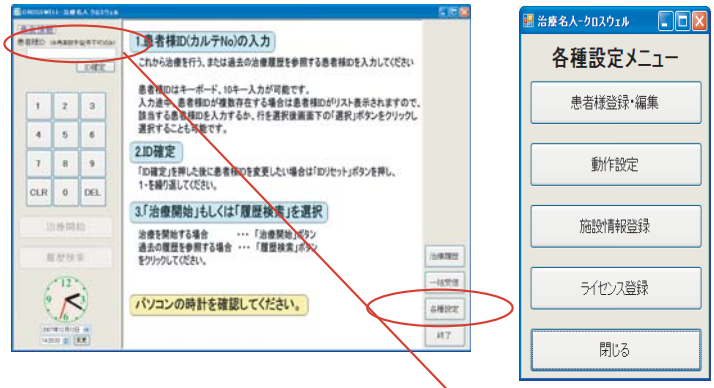
ファイル出力



選択したデータをCSV形式でファイル出力します

#既往歴など

#測定時刻	SYS	MAP	DIA	脈拍	SpO2	RPP	イベント名
13:36:00	153	133	101	61		9.3	
13:41:00	162	125	101	68	100	11	カフ
13:42:00	156	137	99	72	100	11.2	
13:50:00	152	133	100	73	99	11.1	
13:55:00	153	134	98	74	100	11.3	カフ
14:00:00	154	135	100	70	100	10.8	カフ
14:06:00	130	99	75	68	100	10.8	カフ
14:10:00	128	104	83	71	100	9.1	

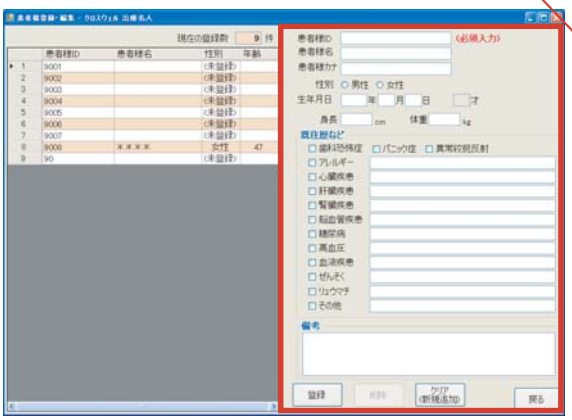


年齢・性別・既往歴等の登録・編集

環境設定・治療名人設定・麻酔記録設定・データベース

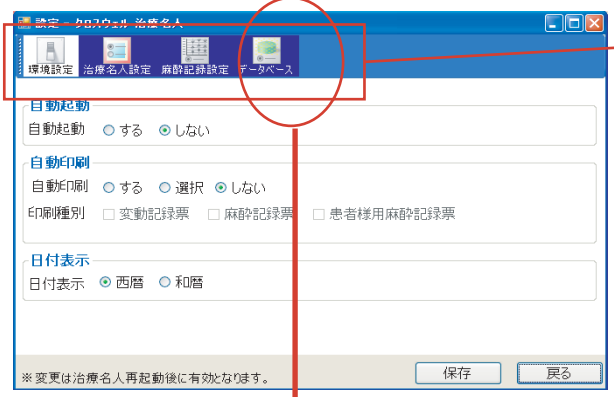
ライセンス登録時に使用

患者登録・編集



立ち上げ画面からの登録も可能

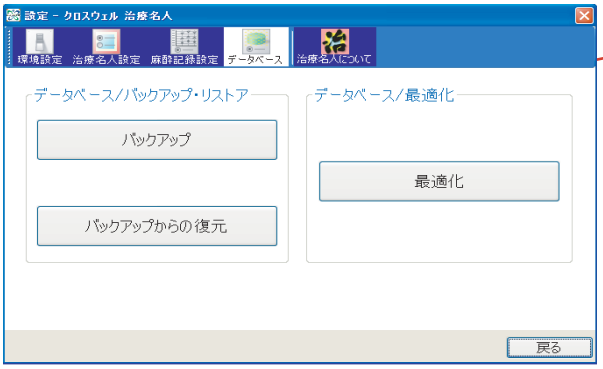
動作設定



設定したい項目を選択

次のような設定ができます

- 自動立ち上げ
- 終了時自動印刷
- 西暦、和暦の変更
- 麻酔記録表のスケール
- データバックアップ・・・・・

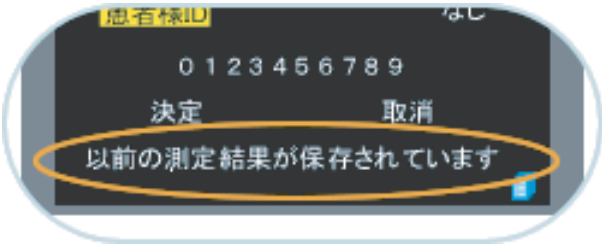


データのバックアップはこまめに行って下さい

データのバックアップしたファイルに置き換える時は
リストアをクリックし、ファイルを選択して下さい

①サークルメイツ

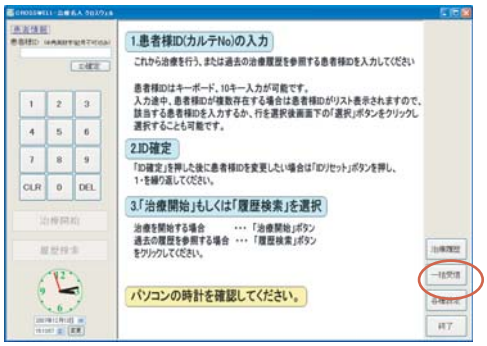
患者様IDを登録し、測定すると、サークルメイツに測定結果が蓄積されます



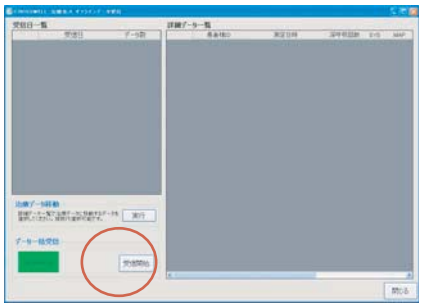
サークルメイツを立ち上げると
「以前の測定結果が保存されています」と表示

パソコンとサークルメイツはＵＳＢケーブルで
接続して下さい

②治療名人　一括受信クリック



一括受信をクリックしてください



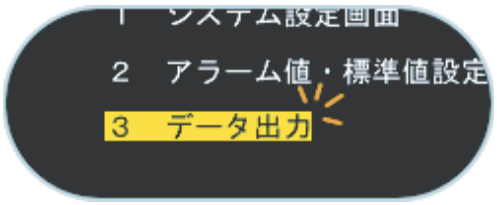
受信開始をクリック

確認　未接続での測定データはこの画面以外で受信できません。

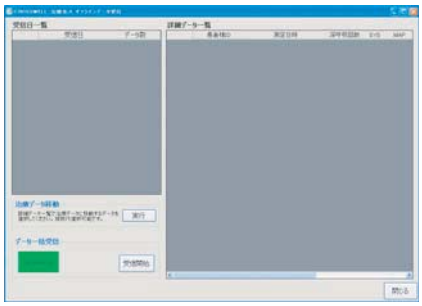
③サークルメイツ　データ出力

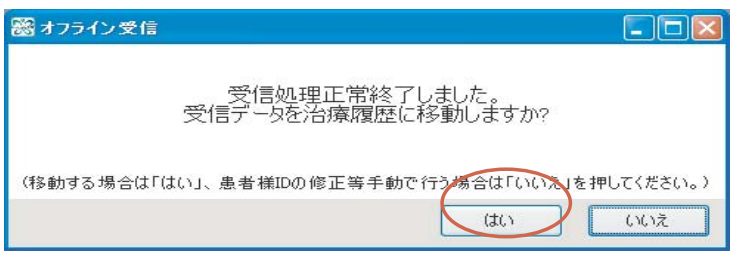
ID入力画面のサブメニューアイコンを選択します。

● サブメニュー画面の「３　データ出力」を選択します。

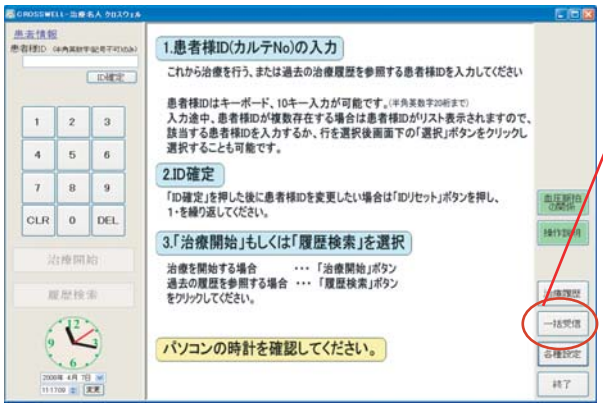


④治療名人　受信履歴へデータ移動





①治療名人　一括受信をクリック



一括受信をクリックして下さい

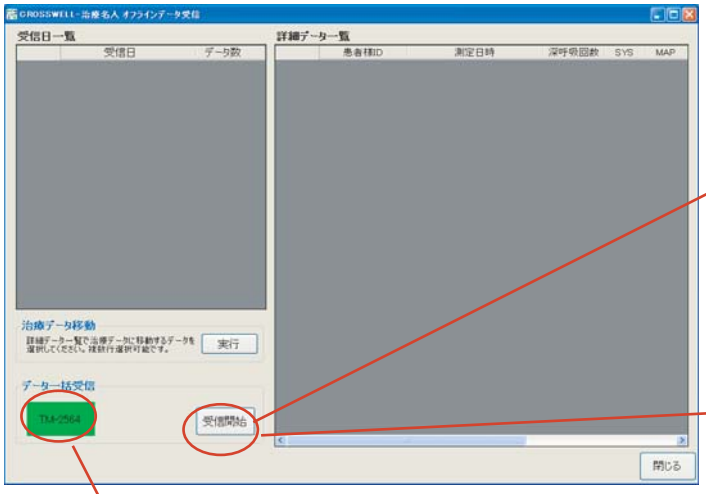
②バイタルセンサＤをパソコン接続し、電源ＯＮ

パソコンとバイタルセンサＤはＵＳＢケーブルで
接続して下さい

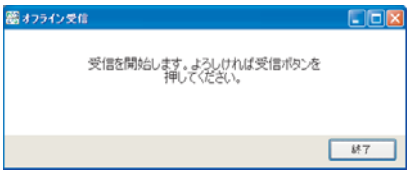
電源をＯＮにして下さい

バイタルセンサＤのデータメモリ数：400データ
400データを超えると古いデータから消去し、新しいデータをメモリします

③治療名人　受信開始をクリック



受信開始をクリックして下さい

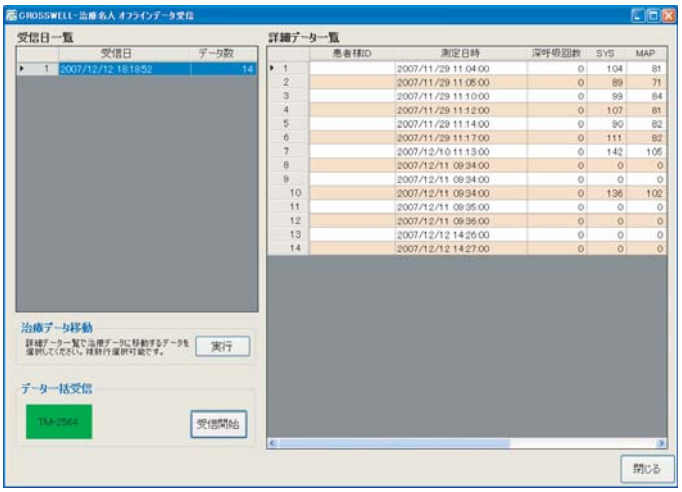


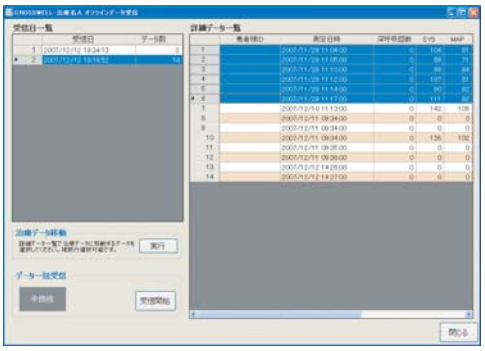
再度受信開始をクリックして下さい

確認

患者様のＩＤを入力します

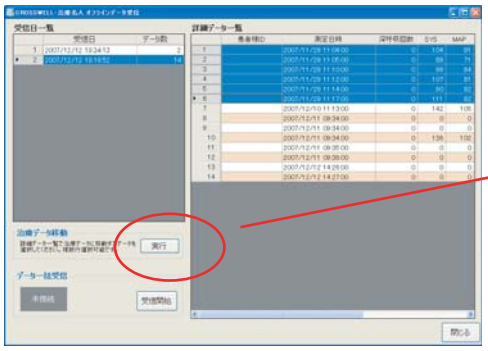
④. 該当するデータを選択





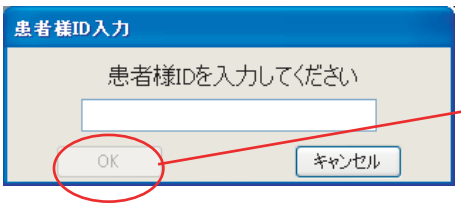
該当するデータ（番号）をドラッグすると、
複数行のデータ選択が可能です。

⑤. データを選択した後、実行をクリック



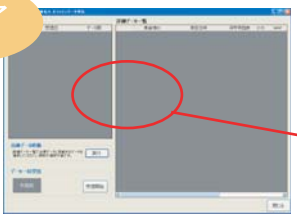
実行をクリック

⑥. 患者様ＩＤを入力



患者様ＩＤを入力し、ＯＫをクリック

完了



治療名人データへの移動が完了

画面上にデータは表示されません

血圧測定開始

血圧測定中止

1. 電源スイッチ

2. ロータリースイッチ

選択　設定

各画面の操作は、ジョグダイアルで行います。
ダイアルを「回す」事で項目の選択をします。
ダイアルを「プッシュ」する事で決定になります

警報音を停止します

3. ID クリア

患者さんが変わるごとに
必ず押してください

アイコン・・・・ロータリースイッチで選択してください

①　②　③　④　⑤

①カフ間隔の設定（OFF の時は表示されません）

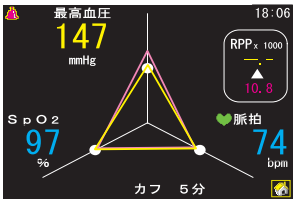
②カフアイコン　血圧測定開始＋アイコンマークを記憶

③イベントアイコン　イベント時間を記憶

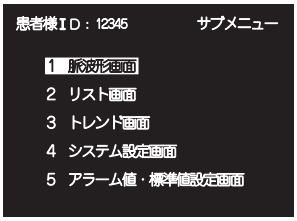
④トライアングル画面に切替

⑤画面切替

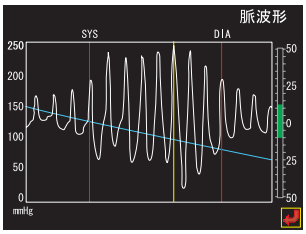
④トライアングル画面



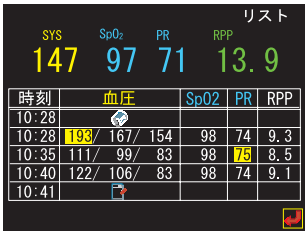
画面切替



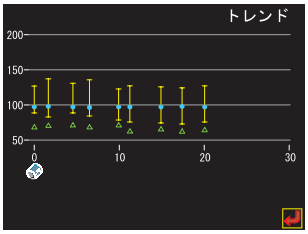
1. 脈波形画面



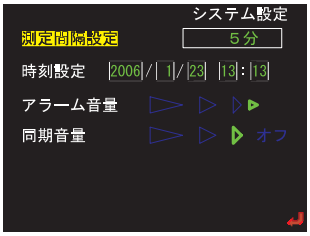
2. リスト画面



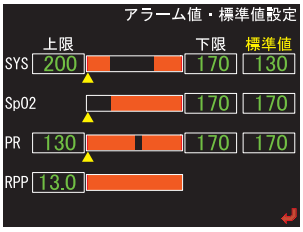
3. トレンド画面



4. システム画面



5. アラーム値・標準値設定画面

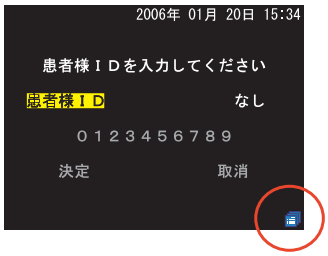


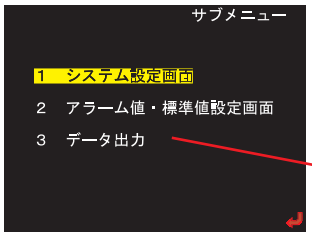
CROSSWELL

簡易取扱説明書

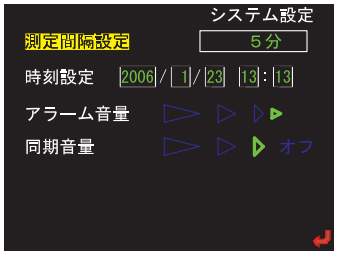
生体情報モニタ サークルメイツ Circlemates

1. 電源ＯＮ

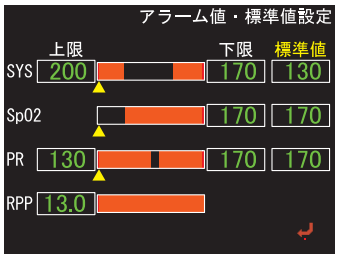




2. 測定間隔の設定



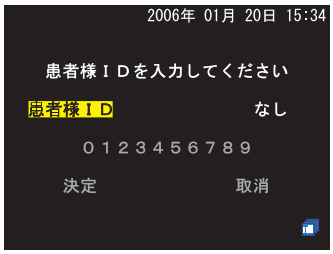
3. アラーム値の設定



前回の設定値を記憶しています
2 回目以降、同じであれば設定の必要はありません
測定中の画面でも設定できます（画面切替アイコン）

3. データ出力
専用ソフトアネメイツにデータ出力する際に押してください
詳しくはソフトの受信ナビゲータをご覧下さい

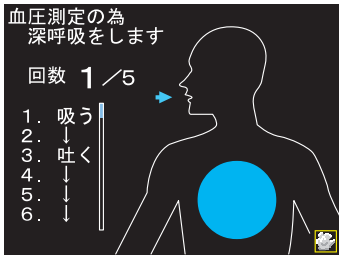
4. 患者様 ID 登録



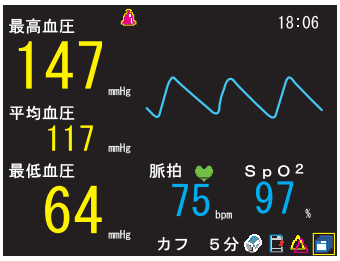
パソコンと連動させて使用する際はサークルメイツの
ＩＤは入力の必要はありません

単体で使用の際はＩＤの入力をして下さい
後でパソコン上でデータ保存が可能です

深呼吸画面表示



30 秒後に血圧自動測定



＊ロータリースイッチを押してください
すぐに血圧測定したい場合はスタートスイッチを押してください

5. ID クリアもしくは電源 OFF

◯ ＩＤクリアー

サークルメイツにＩＤを入力した場合
患者さんが変わる時
ＩＤクリアーボタンを押してください

株式会社クロスウェル
TEL 045-312-9301 http://crosswell.jp